

校内研修計画

1 研究の構想図について

【学校教育目標】 **伸びる子**～やさしく かしこく たくましく～

- 【 目指す子ども像 】
- 自ら行い、支え合う子
 - 自ら学び、高め合う子
 - 自ら鍛え、磨き合う子

【 身に付けさせたい資質・能力 】

自己肯定感

夢・志を実現する基礎学力 夢や志を実現する基盤となる基礎学力の確実な習得

自己学習力 課題を見付け、課題解決に向かう主体的な学びの力

伝える力 自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝える力

関わる力 自他のよさを知り、相手を思いやって、友達と協力したり、協働したりしながら、物事を進めようとする力

向上心 よりよく生きようとする心
(目標に向かって粘り強くやり抜く心・新たなことにも挑戦しようとする心)

郷土愛 奥浦のよさを知り、誇りや愛着をもち、奥浦の為にできることを考え、行動する

【 研究主題 】

自ら学び、確かな学力を身に付けた奥浦っ子の育成
～算数科における「読解力」を育て、伸びを実感する授業の工夫～

【研究仮説】 伸びを実感できる算数科学習指導の工夫として読解力を育てる「授業の工夫」「基礎学力の向上」を視点に取組を行うことで、自ら学び、確かな学力を身に付けた奥浦っ子が育つであろう。

自ら学ぶ子ども	確かな学力を身に付けた子ども
○ ズレや共通点に目を向け、見通しをもって解決しようと粘り強く取り組む子ども。 (自己学習力・向上心)	○ 正確に問題を読み取り、必要な情報を取捨選択して、考えを整理し、自分の言葉で根拠を基に説明することができる子ども。 (基礎学力・自己学習力・伝える力)
伸びを実感する	
○ 数学的な用語を用いて自分の伸びを、振り返りによって見つめ、認識する。 ○ 算数のよさや楽しさ、学んだことの意味に気付き、よりよい方法の追究や新たな学びの意欲につなげる。 (自己学習力・向上心)	

2 研究仮説の具体

【読解力を育てる授業の工夫】

奥小スタイルの確立

- Why : 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得するとともに、よりよく問題を解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けた子どもを育てていくため
- When : 授業を保障する
- What : 奥小スタイル「算数ツール・算数ワードの活用を軸に、伸びを実感する時間を保障する学習」の推進
- How : ◇問題文等の情報を読み取るなど読解力を伸ばす指導の工夫
◇「対話」によって明確になっただれを意識した「子どもに届く」めあての設定
◇児童が「安心して」自力解決に臨める見通しのもと
◇揺さぶりや対話により、大切な算数ツール・算数ワードに気付かせてからのまとめの作成
◇振り返る時間の十分な確保と、「できた」という伸びをより実感させる適用問題の量や質の工夫

【基礎学力の向上】

学習状況確認フォルダの作成

- Why : 国語科・算数科の基礎学力の定着を明らかにするため
- When : 単元後
- What : 学年別の国語科・算数科の学習状況への入力・チェック
- How : ◇つまづきへの個別指導に活用 ◇引継ぎ資料として活用

家庭学習の習慣化

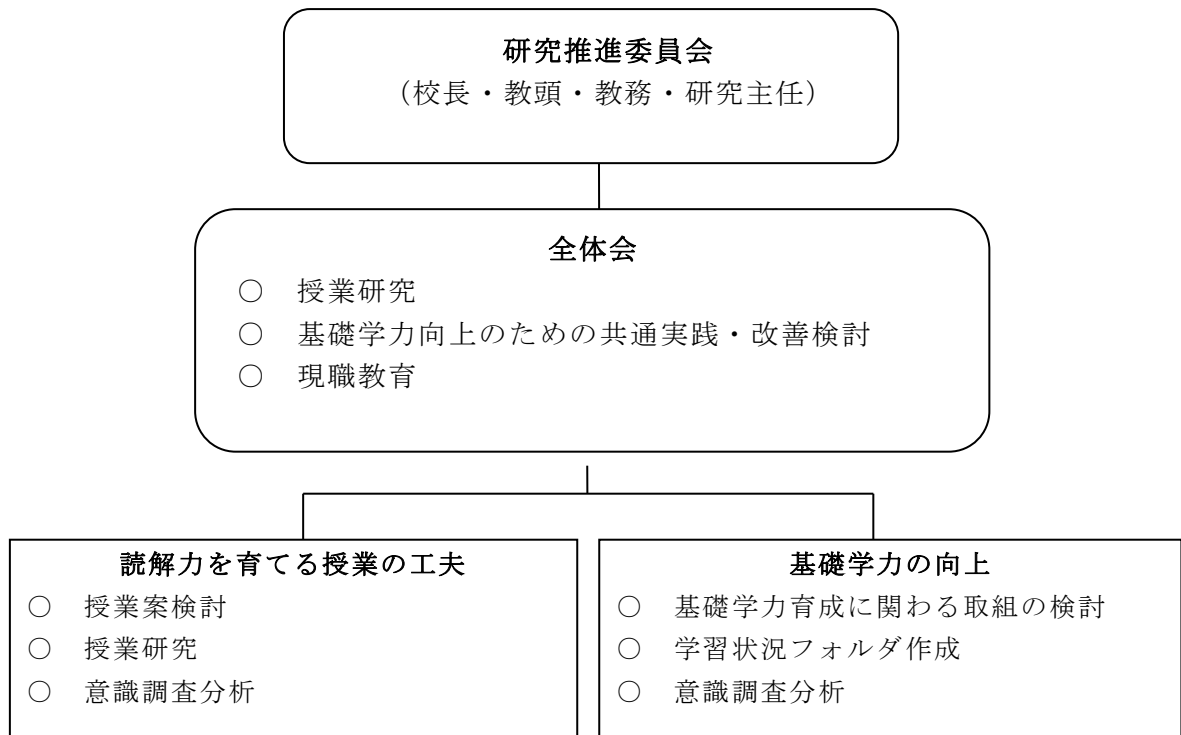
- Why : 授業で身に付けた力の定着のため 学習・読書習慣の定着のため
- When : 帰宅後
- What : 音読・漢字・算数・自主学習・読書・読解力を育てるプリント
- How : ◇家庭学習の手引きの活用 ◇「5つの絶対」の徹底
◇自主学習紹介コーナー更新 ◇チェックカードを活用した振り返りの実施
◇家庭学習習慣化調査（保護者・児童・教師）

スキルタイムの充実

スキルタイム（国語、算数、GIGA）

- Why : 基礎基本の定着確認、文章題・応用問題への対応力向上のため
情報活用能力の習得のため
- When : ①スキルタイム（火、木曜日 全学年 13:50～14:10） ②月末（13:50～14:10）
- Who : ①全学年 ②作成：校長・各学年担任→対象者全学年
- What : ①計算力評価問題 ②月例テスト実施・やり直し

3 研究の組織について



4 研究の運営について

- 研究推進委員会について
 - ・ 研究の方向性や内容など、研究推進のための企画立案を行う。
 - ・ 研究仮説の具体について、進捗状況を確認する。
 - ・ 構成は、校長・教頭・教務主任・研究主任とする。
- 全体会について
 - ・ 研究推進委員会からの提案事項について、共通理解を図り、確認する。
 - ・ 具体仮説に係る提案事項、研究内容などについて、共通理解を図り、確認する。
 - ・ 理論研究、実践研究の深化や学習活動などに関する事項について検討する。
 - ・ 学習指導案の検討及び研究協議を行い、授業研究を推進する。
 - ・ 研究会参加等の報告など、情報交換会を定期的に行う。
 - ・ 教師の得意分野を生かしたり他機関から講師を招いたりし、現職教育を行う。
 - ・ 意識調査分析を行う。
 - ・ 基礎学力育成に関わる取組を検討する。
 - ・ 学習状況フォルダの作成と確認を行う。

5 研究の方法について

- 校内研修日を水曜日に定め、月に2回程度研修を深める。
- 研究推進委員会、全体会を組織し、研究を推進する。
- 仮説の検証・指導法の研究のため、研究授業及び授業研究を実施する。
- 算数の意識調査や学力検査等を実施し、現状や結果を分析する。
- 基礎学力向上のための取組について学期ごとに全体会で共通理解を図る。

6 校内研修計画について

時期	月 日	内 容
1 学 期	4月 1日	<input type="checkbox"/> ノート・チェックカードについての共通理解
	4月 4日	<input type="checkbox"/> ノート指導についての共通理解
	4月13日	<input type="checkbox"/> 奥小スタイルの授業確認・家庭学習の手引き 自主学習のススメ配付
	4月13日	<input type="checkbox"/> 学力向上プラン・校内研修計画
	4月13日	<input type="checkbox"/> 本校児童の強み・弱みの共通理解・CRT 結果の共有
	4月13日	<input type="checkbox"/> 基礎学力の取組検討
	5月11日	<input type="checkbox"/> 全国・県学力調査採点
	5月18日	<input type="checkbox"/> 算数意識調査内容確認
	6月 1日	<input type="checkbox"/> 提案授業・授業研究（第 6 学年）
6月 8日	<input type="checkbox"/> 第 5 学年 指導案検討・授業研究	
6月29日	<input type="checkbox"/> 研究授業・授業研究（第 5 学年）	
	6月29日	<input type="checkbox"/> 意識調査等の実施・集計
夏 休 み	7月21日	<input type="checkbox"/> 意識調査等の分析
	8月 9日	<input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査・県学力調査分析・共通理解
	8月19日	<input type="checkbox"/> 現職教育①（GIGA スクール関連） 現職教育②（GIGA スクール関連）
2 学 期	9月 1日	<input type="checkbox"/> 現職教育③（特別支援教育関連）
	9月28日	<input type="checkbox"/> 現職教育④（GIGA スクール関連）
	10月 5日	<input type="checkbox"/> 第 3・4 学年 指導案検討（合同教材研究）
	10月25日	<input type="checkbox"/> 研究授業・授業研究（第 3・4 学年）
	11月 2日	<input type="checkbox"/> 現職教育⑤（人権教育）
	11月 9日	<input type="checkbox"/> 第 2 学年 指導案検討（合同教材研究）
	11月16日	<input type="checkbox"/> 研究授業・授業研究（第 2 学年）
3 学 期	1月11日	<input type="checkbox"/> 現職教育⑥（GIGA スクール関連）
	1月25日	<input type="checkbox"/> 研究のまとめ・次年度の方向性検討
	2月15日	<input type="checkbox"/> CRT 検査結果入力・分析 <input type="checkbox"/> 意識調査等の実施・集計・分析